

- ・平成 20 年度学校協議会会長選出 新会長に山本美也子様

< 議題 >

1 本校の最近の取組みと改善すべき点などについて

学校教育力の向上に向けて

学校情報の発信を強化

運営委員会の定例化

全教員による生活指導を充実

朝の S H R の実施 ( 1 年生 )

大阪府及び国の交通安全モデル事業を実施

部活動指導者として後援会に学校外の人材活用制度を設置頂く

上記、 に関して協議委員の方より下記の質問あり

- ・資料 2 ・平成 20 年度学年別遅刻者数グラフより

遅刻数が 2 年生で突出しているのは何故か、6 月に突出しているのは何故か

- ・遅刻対策は何が有効なのか
- ・自転車通学の課題は
- ・遅刻を減らす取り組みの意図は？
- ・2、3 年生に朝 S H R が無いのは何故か

上記について改善案を協議、下記のような案や意見を頂いた

- ・ゼロ・トレランス～基準を明確にし、こまめにきちんと指導していく ( 例 イエローカード制 )  
遅刻対策に有効では
- ・ペナルティの強化
- ・努力目標を視覚化する
- ・クラス対抗、学年対抗で遅刻数を競わず ( 生徒同士で指導しあう )
- ・今年度から実施の朝の立ち番...軽症遅刻者に効果あり、重症遅刻者には別の対応が必要
- ・立ち番の際、教員から笑顔で挨拶を
- ・S H R を全学年で施行していくべきでは

学校協議会の提言を受けた中・高・地域連携の推進と本年度の入試状況

- ・本年度の評定、志願者数の増加の理由...積極的な情報発信が効果を得た？  
学校説明会を 2 回実施・土曜日にも実施
- ・男女の学力格差が課題

## 2 平成19年度生徒向け学校自己診断結果の分析について（協議）

問2：わかりやすい授業が多いという問いに否定的な生徒が80%強  
西高生の勉強への意識を高めるためには

- ・ 教員側が毎回の授業目標を挙げるようにしていく  
授業のイメージ、達成目標などの工夫によって授業のわかりやすさが増す
- ・ 上の層には個別学習を、下の層には基礎力をつけさす  
全体の学力のでこぼこをどれだけ均すか
- ・ 家庭学習のくせづけ（自学自習）
- ・ なぜ勉強するのか、なぜこう指導するのか毎回話し続ける
- ・ 「読む力」「書く力」をつける...どの教科にも関係すること
- ・ 授業においてわかったか、わかってないのかの意思確認が必要
- ・ 2年生をキーポイントに（2年生での数値の悪化を防ぎたい）

## 3 創立30周年記念行事について

次回協議会開催予定 12月